

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 号外

令和2年8月4日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)
JA会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店
(有)山一米穀店、会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区

いもち病の発生しやすい天候が続いています。
適切な防除により、穂いもちの発生を防ぎましょう。

斑点米カメムシ類が多く発生しています。
適切な防除により、斑点米の発生を防ぎましょう。

1 いもち病の防除対策

- (1) 表1はいもち病の感染しやすい日を示しています。感染すると、7~10日ほどで病斑が生じます。ほ場を確認し、上位葉に病斑が見られる場合は散布剤による防除を実施してください。
- (2) 散布剤による防除は穂ばらみ末期と穂揃期の2回散布を基本とし、多発生のおそれがある場合は、さらに傾穂期にも追加で防除を実施してください。
- (3) 低温などで出穂期間が長引く場合は、穂ばらみ期を基点として、7~10日おきに散布剤を2~3回散布してください。

表1 令和2年イネ葉いもち観戦好適条件出現状況(BLASTAM)

	7月											8月		
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日
喜多方	-	-	-	-	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-
西会津	-	-	-	-	●	●	●	-	-	●	-	-	-	-
猪苗代	-	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-
若松	-	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-
金山	●	-	-	-	●	●	●	-	-	●	-	-	-	-
只見	●	-	-	●	●	●	●	●	-	●	-	-	-	-
南郷	-	-	-	-	●	●	●	●	-	●	-	-	-	-
田島	●	-	-	-	●	●	●	●	-	●	●	-	-	-

※「●」はいもち病の感染が発生しやすい感染好適日を表しています。感染が発生した場合、7~10日ほどで病斑が生じますので、ほ場を確認する際の参考としてください。

表2 いもち病(穂いもち)の防除薬剤(散布剤)(注1)

薬剤名	使用時期(収穫前日数)	使用濃度(10aあたりの使用量)
ブラシン粉剤 DL	収穫7日前まで	3~4kg
フジワン乳剤	収穫14日前まで	1000倍(注2)
フジワンフロアブル	収穫7日前まで	1000倍(注2)

(注1)農作物病害虫防除指針より抜粋。薬剤の選定や購入にあたっては、JA や業者にご相談ください。

(注2)フジワン乳剤及びフジワンフロアブルは、10aあたり140~150L散布する。



図1:葉いもちの病斑 (出典:宮城県)



図2:穂いもちの様子 (出典:群馬県)

2 斑点米カメムシ類の防除対策

- (1) 出穂の早い水田や、天のつぶなど割粃の多い品種は被害を受けやすいため、特に注意が必要です。
- (2) 散布剤による防除は、乳熟期を基本とし、その後も発生が見られる場合は7日後に追加防除を行いましょ。
- (3) 粒剤(水面施用剤)による防除は、穂揃期から乳熟期を目安に湛水状態で散布し、7日以上止水してください。

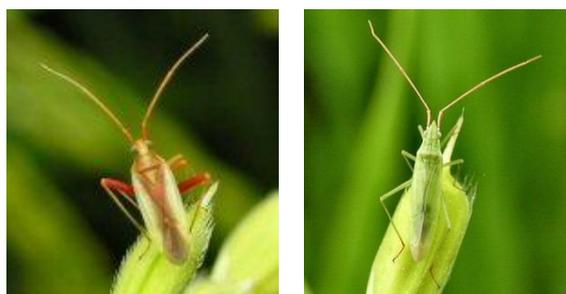


図3:よく見られる斑点米カメムシ (出典:宮城県)
左がアカスジカスミカメ、右がアカヒゲホソミドリカスミカメ。体長はどちらも6mm程度。

3 水管理

出穂から穂揃期(開花期)は最も水分を必要とする時期ですので、水田が乾くことがないよう、できる範囲での湛水管理を行いましょ。

○薬剤を使用する際は必ず包装や容器のラベルを確認し、記載事項を守って正しく使用してください。

○今年の夏も高温が予想されますので、水分補給をしっかりと行い、熱中症にご注意ください。